

# 企業Bによるこれから必要な人材



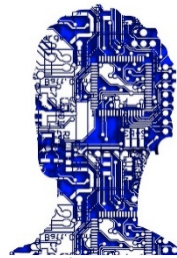
## ドメイン知識、理解する能力

(広く多様な業界関連知識、  
ビジネス・モデル、物流・ものづくり、社会的課題、多様な視点)



## 問題の発見・解決能力

(価値ある問題を見つけ創出する能力、問題を定式化し解決の道筋を示す能力、チームを組織し実行するリーダーシップ)



IT, 先進技術活用能力 (先端技術についての豊富な知識、先端技術に関する目利き、利用価値の判断、技術の選定ができる能力)

# 不可避の改革

大学と各キャンパスの、  
特徴の明確化によるブ  
ランドの安定的確立

学生の世界的流動化を  
可能とする大学全体の  
グローバル化

思考力をつけるための  
大学全体のアクティ  
ブ・ラーニング化

学習成果の透明化と  
情報公表

新しい基準に沿った  
入試改革

初年次における  
自校教育と  
自己肯定教育

リカレント教育

財政改革を含めた長期  
ビジョンの実行

# 産業界への提言1. 個々の私立大学教育への正しい理解と協力

(私大連『未来を先導する私立大学の将来像』より)

教育の問題は産業界を含め社会全体の問題である。産業界や社会は、私立大学を十把一絡に判断して批判するのではなく、各私立大学の改革の**実態を知って、正しい理解**による評価をすべきであろう。それが、教育のレベルを上げることになる。また、企業は求める人材像を大学に期待するだけでなく、そのような人材を育成する教育プログラムの開発やキャリア教育に資するインターンシップ等、大学教育への寄附等の**財政支援を含め積極的な協力**を要望する。

# 産業界への提言2. 地方創生への積極的な参画

(私大連『未来を先導する私立大学の将来像』より)

地方創生は大学と企業、地域が連携して当たらなければ成し得ない。地方創生の行方を地元生徒たちの地元の大学進学に委ねるのではなく、**企業が積極的に進出し、雇用を創出し、大学や地域と連携することではじめて若者の定着につながる。**

# 産業界への提言3. 社員のリカレント教育への参加の推進

(私大連『未来を先導する私立大学の将来像』より)

現代社会においては、生涯を通じて、常に最新で最高度の知識・理論・技能を身に付け、その能力を向上させ続けることが必要とされている。各私立大学においては、社会人が学ぶことが可能なさまざまなプログラム等を提供する等、社会人教育に対する取り組みを推進してきたが、今後さらに**社会人の学びを普及・発展させるためには、企業がリカレント教育を受けた有能な社会人を雇用する考えを持ち、また、多くの働き手のリカレント教育への参加を推進する体制を整備する必要がある。**

# 産業界への提言 4. 大学院修了者の積極的な雇用

(私大連『未来を先導する私立大学の将来像』より)

学生の大学院への進学を妨げている要因は、大学院とりわけ博士課程修了者への企業の雇用の考え方にある。より専門的で、しかも応用力のある対応が必要になるこれからの社会では、博士等の学位の価値は、世界的にも高くなる。企業は、日本の知識基盤社会を絶えず変革する上でも、**大学院進学者の増加が重要であることを認識し、積極的な雇いを推進すべきである。**

# 産業界への提言 5. 大学や大学院における成績を重視した採用活動

(私大連『未来を先導する私立大学の将来像』より)

企業は採用の方法において、**より成績を重視した採用活動に力を入れるべきである**。それには、私立大学が、それぞれ成績の評価基準を定め、学修成果を可視化をする等、成績に対する信頼性の確保に努めることが求められる。**企業が大学や大学院における成績を重視した採用活動**することによって、**産業界や社会が必要とする能力の育成に、大学も重点を置くことができ、教育の質の向上に良い循環が期待できる**。